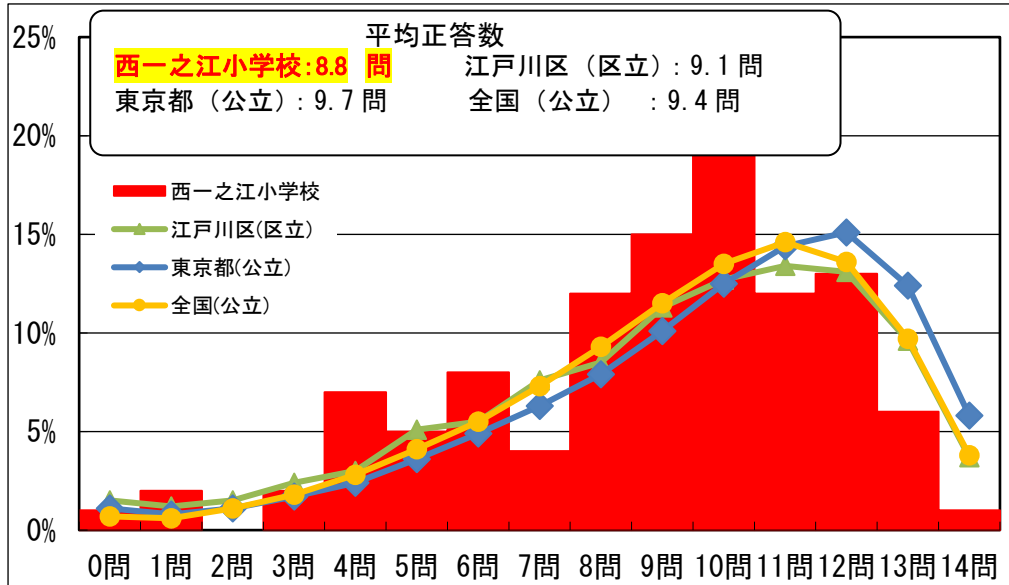


令和5年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】 西一之江小学校

正答数分布



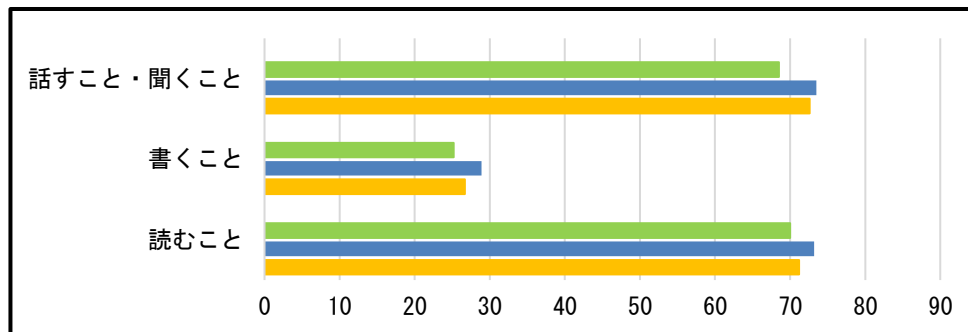
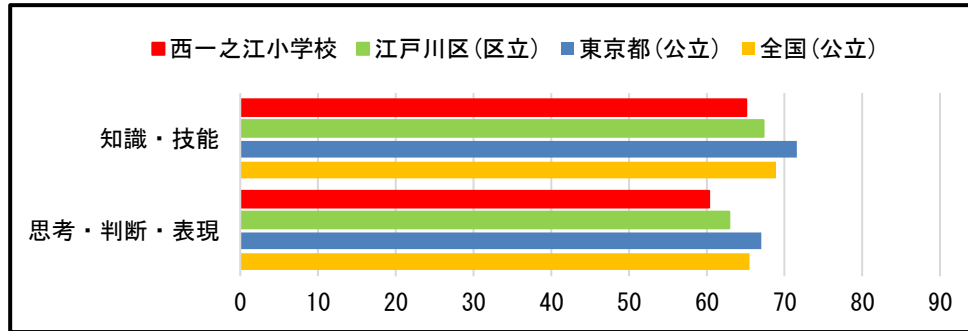
<四分位における割合(都全体の四分位による)>

上位 ← → 下位

国語	A層 12~14問	B層 10~11問	C層 8~9問	D層 0~7問
西一之江小学校	18.5	29.6	25.0	26.9
江戸川区(区立)	26.4	26.1	19.8	27.7
東京都(公立)	33.3	26.9	18.0	21.8
全国(公立)	27.1	28.1	20.8	24.0

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。上の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

西一之江小学校	63%
江戸川区(区立)	65%
東京都(公立)	69%
全国(公立)	67.2%
都との差	6ポイント

%

【分析結果と授業改善に向けて】

○平均正答率は、全国、都平均を下回った。
 ○四分位では、A層の児童が少なく、B~D層が多い傾向にある。
 ○領域別では、知識・理解、思考・判断・表現ともに平均に届いていない。
 ⇒5年生までに既習学習について、丁寧に触れるよう意識する。
 ⇒苦手意識を持った児童に対して、単元における課題設定や分析方法など学び方について支援する。
 ⇒記述することへの抵抗を少なくするため、日記や日々の振り返りなど、国語科以外の学習でも自分の考えを言葉で表現するように意識する。